

校歌誕生の十人に迫る



*伊東先生を出迎えた『海風』

～風は海から誕生のヒミツ

東京から電車を乗り継ぎ、谷津坂駅（現・能見台駅）からの上り坂を汗だくになって登り切った伊東先生と若山先生。海を振り返った時、東京では出会えないような、さわやかな涼しい風が、さあっと吹き抜けていきました。

校歌の歌い出し『風は海から～』は、こうして決まりました。

西富岡小学校校歌
若山かほる 作詩
伊東伸哉 作曲

風は海から 吹いてくる
陶にいはば 吹いてくる
大いなる海へ ふくらんだ
希世の光を 丘の上
走ろうと 走ろうと 走ろうと
いつと 明るい 西富岡小

春はみどり 秋はあじい
鳥とやまの 木のかげに
空まての 木のこゝろに
まっすぐ 走る 走る 走る
いつと 明るい 西富岡小

白い校舎が 光る丘
声の輪になり ほつてる
先生生徒 父や母
みんなが 仲よした
走ろうと 走ろうと 走ろうと
いつと 明るい 西富岡小

初代副校長、小田切先生が手書きした校歌の歌詞(校長室に飾られています)

*PTAや商店街の協力で オークストラ伴奏が完成 ～一流の奏者が演奏しました

西富小の校歌には、立派なオーケストラ伴奏が付けられています。

ニッポン放送の生放送用スタジオを貸し切り、トランペットやクラリネット、ドラムなど

『当時のスタジオミュージシャンとしては、超一流』のメンバーが、伊東先生の呼びかけで集まり、

収録したものです。費用は、当時のPTAがカンパしたほか、谷津坂（現・能見台）の商店街の店々が

『子どもたちのために』と寄付をしてくれたそうです。

*再録した演奏を聴くことができます！

オーケストラ伴奏は1990年代半ばまで朝会や校内放送で流されてきましたが、テープの破損で使われなくなっていました。このたび、マスターテープから再録しました。

学校ホームページ→学校情報→校歌、

または下記サイトで聴くことができます。



3年生に、校歌を作った頃の話をしてくださり、曲もプレゼントしてくださいました(音楽室にて)

校歌「風は海から」



来年1月末まで
聴けますよ！

第2校歌



編集後記

『新小学校の開校は地元の悲願でした』——。西富岡小学校ができた当時、自治会の記録には喜びが記されています。子どもの足で富岡小学校まで通うのはきっと大変だったのでしょうか。校歌制定、アスレチック寄贈、学校行事への協力。取材では、この場所に小学校ができたことを喜び、子どもたちのために奮闘した先生方、PTA、地域の方々の姿が浮かび上がりました。私も卒業生の一人。みなさまに大切にされてここに育ったことに気づかされ、感謝の思いでいっぱいです。時が流れ、保護者の立場になった今。先輩方の頑張りに、自分は何ができるのかを考えさせられました。